

学会印象記

日本獣医再生医療学会 第15回年次大会

会期：2020年1月25日(土)、26日(日)
会場：ビジョンセンター横浜
大会長：横山 篤司(さくら動物病院)
大会実行委員長：平野 由夫(ひらの動物病院)

枝村 一弥

日本大学生物資源科学部獣医学科獣医外科学研究室
日本大学動物病院整形外科

日本獣医再生医療学会の第15回年次大会が、2020年1月25日と26日に、ビジョンセンター横浜で開催された。当日は小雨の降る寒い日であったが、獣医師のみでなく、医師や歯科医師も含め多くの参加者が来場した。

一般社団法人日本獣医再生医療学会は、2018年4月に、臨床獣医師が主体であった日本獣医再生医療学会と、アカデミアが主体であった日本獣医再生・細胞療法学会が合併して発足した学術団体で、学術集会では基礎から臨床まで幅広いテーマの講演や発表が行われている。今回の学会のテーマは、「安全と信頼 そして発展」であり、学術的な講演のみでなく、2018年4月に開始された「犬及び猫における再生医療及び細胞療

法の安全性確保に関する指針」および「再生医療及び細胞療法実施施設の届出」の遵守が徹底された学会でもあった。

第1日目は、基礎知識の充填を目的とした10コマの教育講演が2つの会場で実施された。301会場では、大阪府立大学の杉浦喜久弥先生による「免疫学 総論(1)・(2)」、麻布大学の久末正晴先生による「免疫細胞療法(基礎)・(応用)」の講演が行われた。さらに筆者が、前述の指針の概要と届出システムの進捗状況について概説した。302会場では、中郷どうぶつ病院の柴田博人先生による「多血小板血漿療法(基礎)・(応用)」、日本獣医生命科学大学の原田恭治先生による「間葉系幹細胞療法(基礎)・(応用)」の講演があり、立



会場の様子

SAMPLE